

特定外来生物等専門家会合で要緊急対処特定外来生物に指定することが適当とされた
特定外来生物の概要

種群	種名	評価の理由
ソレノプシス・ゲミナタ種群 <i>Solenopsis geminata</i> species group	<i>S. amblychila</i> <i>S. aurea</i> <i>S. bruesi</i> <i>S. gayi</i> <i>S. geminata</i> (アカカミアリ) <i>S. xyloni</i>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヒアリ、アカカミアリの分布拡散にともない、世界的に生態系、人の生命身体への影響が見られている。日本においては、ヒアリの定着は未確認であるものの定着の危険性が高まっている状態であり、アカカミアリは硫黄島でのみ定着が確認されているものの、港湾等での確認事例が頻発している状況である。いわゆるヒアリ類と呼ばれる4種群のうち残りの21種は国内で未確認もしくは定着は確認されていない。万一、これらがまん延した場合には、刺傷による重篤なアレルギー反応により、死亡に至る危険性や後遺症が残る場合がある。また刺傷被害へのおそれから、まん延地域においては公園の利用や花見等といった日常生活や野外活動に支障が出ることを考えられるほか、医療費や被害防止にあたっての一般家庭の費用負担が増加する等、国民生活の安定に著しい支障を及ぼすおそれがある。 ・ また、地面での営巣だけではなく、人工物の隙間、電子機器等を含む様々な物品、海上コンテナ等で営巣可能であることから、容易に物品等に付着することで移動し、拡散する可能性があり、また、消毒または廃棄を行わない限り、ヒアリ類を物理的に取り除くことは困難である。 ・ ヒアリ類と呼ばれる4種群の23種は形態的に酷似しており分類が困難であること、交雑個体を形成すること、生態的にも類似しており同様の被害を及ぼすおそれがあること
ソレノプシス・サエヴィシマ種群 <i>Solenopsis saevissima</i> species group	<i>S. daguerrei</i> <i>S. electra</i> <i>S. hostilis</i> <i>S. interrupta</i> <i>S. invicta</i> (ヒアリ) <i>S. macdonaghi</i> <i>S. megergates</i> <i>S. metallica</i> <i>S. pusillignis</i> <i>S. pythia</i> <i>S. quinquecupis</i> <i>S. richteri</i> (クロヒアリ) <i>S. saevissima</i> <i>S. weyrauchi</i>	
ソレノプシス・トゥリデンス種群	<i>S. substituta</i> <i>S. tridens</i>	

<i>Solenopsis tridens</i> species group			から、4 種群およびその交雑个体を含め、要緊急対処特定外来生物への指定が必要であると考えられる。
ソレノプシス・ヴィルレンス種群 <i>Solenopsis virulens</i> species group		<i>S. virulens</i>	